

## Second Column



2023.8

### ボスエリ日記

うんこのお供  
vol.7



店主  
田中 英里

cafe&BAR La Mer (ラメール)  
iPhone 即日修理屋さん 久留米店

—昨年突然うんこが出なくなった。もともと便秘症で2、3日出なくても慣れていたが、1週間経っても出る気がしない。腹痛と膨満感は半端ない。仲良しの医者「エリちゃんに合いそうな愉快な医者を」と近所の弥永協立病院を紹介してもらった。院長「腸閉塞だな。完全に閉じとる。水も通さん。カメラも入れれん。」  
エ「エエエ！ どうすりゃいいんですか！ 死にます！」  
院長「死にやせん。とりあえず絶食だな。入院。」  
エ「エエエ！ 食べることだけが生きがいなのに！ 絶食くらいなら入院せんでいいです。」  
院長「アホか！ あなた食べるでしようが！ 絶食なんてなかなか通常の暮らしをしていたらできのよ。」  
しぶしぶ即日入院。地獄の生活が始まった。固形物は一切ダメなので水かお茶くらいしか飲めない。いくら腸はパンパンでも胃は別なので空腹感は半端ない。地獄の数日が過ぎる。  
院長「へい！ 今何が食べたい？」  
エ「寿司！」 院長「ダメーっ！」 エ「餃子！」 院長「ダメーっ！」  
エ「これいつまで続くの？ ついでに点滴やめてよ。全然瘦せん！ この際痩せる。」  
院長「病院もね、絶食しよる人に栄養とえんわけにはいかんよ。たいてい1週間やればとけるから。」  
その後1週間経ってもあたしの腸閉塞はとけなかった。そのまま2週間。病院に行く前を合わせれば3週間出てないことになる。  
院長「これはもうおかしいな。開腹手術するしかない。閉塞してる部分をまるまるカットだ！」  
エ「エエエ！ やだー！ それだけはー！」  
心の祈りが通じたのかその日ようやくうんこは出た。長い腸閉塞はやっととけた。その後大腸カメラをやっと入れた。「大腸ガン！ 大腸ガン！」とあれだけ言ってた院長が首を傾げる。  
院長「おかしい。ホリープすらない。」 エ「わかったか！」  
その後保険屋に出す診断書を見たらあたしの病名は「虚血性大腸炎」と書いてあった。ネットでいろいろ見たけどどうも腑に落ちない。  
エ「あたしキョケッちゃんじゃない気がするんだけど。」  
院長「俺も。でも何か書かないかんもん。奇病っちゃん書けんもん。」  
その後はなんとか腸様が天岩戸にお隠れにならないよう祈る日々。病名が謎なだけに対処法も特別なない。  
毎月院長のところに行っては看護師さん達を笑わせて帰ってくるだけ。もはや院長と患者コト。まだまだ続けるぞ。

cafe&BAR La Mer iPhone 即日修理 久留米店 検索  
久留米市通町7-1-2階 / TEL.090-7114-8787  
営:12:00~翌2:00 / 休:なし



### とぜん 徒然なか日記 vol.23 「ダメージ・ゼロ」



なるとし

野中成利税理士事務所 野中 成利

企業のかかりつけ税理士を目指して、独立後、はや15年弱。近年、中小企業診断士に。久留米高専の後、九州大学へ。下戸の酒好き。猫好き。珈琲甘いもの好き。セミナー講師もやっています。

旅行とは、なんと歩くものだろうか。日頃歩かないのに、やはり観光地に行く信じられない距離を歩くことになる。名古屋に行った。雲一つない晴天で、照り付ける殺人光線は確実に僕の寿命を短くしたはずだ。メラニン色素が頑張り過ぎて近い将来にシミになることは必至である。僕がもしミズならば、青い空の真真中で燃え盛る太陽を見ながら、地球が以前より太陽に近づいたのだと思ひ、干からびて生涯を終えることになるだろう。

だが、僕は歩かねばならない。何故なら名古屋には城があるからだ。ジョージ・マロリーは、なぜエベレストに登るのかという問いに、「そこに山があるから」と答えたという。そう僕も日本男児の端くれ、そこに城があるからには行かねばならない。天守閣に登らなくては行けないのだ。わかる人にはわかる、わからない人にはさっぱりだろうが、城に行く途中頭の中で合戦が繰り広げられる。なにせ、城は軍事施設、物見遊山で行くところではなく、僕らは城攻めをしに行っているのだ。工夫を凝らした防御策にどうやって立ち向かっていくのか、伏兵がどこに潜んでいるかわからない、どうやって、この城を攻め滅ぼすかを考えながら進む。土塁に開けられた狭間といわれる小窓から矢や鉄砲で攻撃を受けながら必死の思いで行く最終地点は本丸、城郭の最深部。城主が立てこもる天守閣だ。天守閣の最上層に登った暁には、この国も俺のものだと高笑いする未来が見える。ところが、僕が天守閣に近づこうとしたそのとき、ある立て札が目に入ってきた。

「名古屋城の天守閣は耐震性が低い入れません」

敵兵に討たれるならまだしも、耐震基準などという建築基準法に邪魔をされるとは。

マロリーが「エベレストは危険だから登れません」をまともに聞いたのなら伝説にはなっていないだろう。僕も伝説になろうと思ったのが天守閣入口の扉は施錠されており、あつけないこの戦は終わりを告げたのであった。

ホテルのボディソープでガンガンと顔まで洗ったら肌がバキバキになってしまった。アメニティに化粧水と乳液と思しき小袋があったので、封を開け透明のジェルを顔に塗り、乳液をその上から広げた。外で申カツを食べながら何か顔が痒いと思ったのは日焼けのせいだろうか。

ホテルに帰り、洗面台でふとさっきの袋をよく見た。「フェイス・ウォッシュ」と「スキนมイルク」と記載があった。なんてことだ僕は、洗顔料を顔に塗りたい、その上から乳液をかけていたのだ。油脂を取ろうとする洗顔料と油脂をつけようとする乳液。プラスマイナゼロで、ノーダメージだと信じたいが、未開封のスキンローション(化粧水)を見ると、なんだかさっきよりずっと痒いような気がした。

野中成利税理士事務所  
久留米市御井旗崎1-10-22-1F  
TEL.0942-48-0660



SECONDでコラム読んで  
くださった方30分間  
税務相談無料です。  
※その旨お問い合わせと並にお知らせください

### 家具屋の思い出話 (22) 「親の顔が見たい！」



cozyflat5252



Cozy Flat  
筑後市四ヶ所菅原田460-1  
TEL.0942-52-3480  
営:10:00~18:30  
休:水曜、第2・4木曜

Cozy Flat オーナー 仲 洋史

「親の顔が見たい」と言う言葉に誰もいいイメージは持たない。厳格な父親に育てられた私はそういう行為はしていないし、する蛮勇も持ち合わせていなかった。言葉の意味は違うが、自分も若い頃は親の顔を見たいとは思わなかったし、むしろ会わないようにしていた。結婚して子供が出来て写真を撮り始めた。自営業の私は子供の運動会や何かの発表会などは一度も行けなかった。しかしそれに後悔はない。家族を養うとはそういうものだと思っていたし、その都度妻が写真を撮って来てくれていたから子供の写真は十分にあった。今、写真はスマホでいつでも何処でも撮れる。それぞれが撮り、それぞれがスマホに保存する。親は子供の写真を山ほど保存する。子供達は大きくなると友達と撮りまくる。子供たちはそれぞれが写真を交換してスマホに保存する。だから子供たちのスマホには様々な写真が残っている。昔は家にアルバムがあった。裕福な

家庭は写真館で毎年家族写真を撮っていた。うちも子供の頃には映写機がありスライド機に現像したフィルムをはさみ白い壁に投影させてみる習慣があった。「このスキー板は叔父さんからの借り物だよ。」「雪は自分たちが投げながら見るのが楽しかった。少なからずカメラは高価なもので、写真は大切なものだった。一枚だけある写真館で撮ってもらった家族の写真は全員額を引いてかしまって写っていたし、オヤジが馬に乗って写ってる写真や仕事場の写真もあった。昔の古いアルバムを見てると自分達子供の成長の写真はたくさんある。ことある事があった。しかし気がつけば、母の写真がなかった。子供と一緒に成長していくその時々母の写真がどこにもなかった。今になって若いころの母を見たいと思った。朗らかで涙もろくてちょっとだけ可愛かった母を見たいと思った。そういえば大人に

なった僕が写っている写真も子を持った時から数えるほどしかない事に気づいた。子供の行事に参加していないのだからしようがなかった。共に働き通しだった僕たち夫婦が並んで写ってる写真もなかった。先日反省して子供に夫婦の写真を撮ってもらった。何だか笑うくらい夫婦の顔は似てきていた。子供が5歳の頃のおそらく酒ばかり飲んでいた若い僕。10歳の頃の一生懸命頑張っていた夫婦の写真がないことに寂しさを覚え後悔した。親は急に老けるんじゃないんだ。子供と一緒に歳をとるんだ。残して置くべきだった。自分達の成長の記録として。きっと子供達も成長し一人前の大人になった時、親の30歳の頃、40歳の頃の姿を自分と比べたいはずだ。その頃の親の顔が見たいはずだ。

### 神主四方山話 vol.6



久留米宗社 日吉神社 神主 久富 貴文

夏休みになり親戚が集まると必ず話に登場するのが山に籠り修行した母方の神社の祖父の話です。祖父の話には山や海の話が登場します。祖父が亡くなり大人になってから年上のいとこに聞いた話に海苔の養殖に関する話がありました。毎年、海のどの場所に海苔を養殖するかは、祖父が神事で決めていたそうです。今年はこの場所がいいと海上の神事で結果があらわれたそうですが、その年の場所は漁師さんたちが言うには海流の変化のようなものが大きく避けるべき場所だったようです。ですから漁師さんたちはこれに反対をしました。しかし、お一人だけは神事のおりに養殖されたそうです。そしてお一人だけ豊漁だったそうです。いったいどうやって海上のその場所を選んだのかと聞いてみると、風の中にいる風小僧さんが「ここだよ」と祖父に教えてくれたそうです。伯父や伯母、年上のいとこも祖父の不思議な話が大好きでした。伯父の家から送られてくる子供のころからよく食べていた海苔はこれだったんだと合点がきました。それから海にあって潮風にあたる時は風小僧さんの話を思い出しながら風の中に挨拶をするようにしています。よもやま。たまには日吉神社のことも書いてみます。天の川が天頂に昇る旧暦の七夕の日。昔は天頂の天の川が水面に映った川や波んでおいた桶の水に天の川の姿を映し、それを使うことによって体を丈夫にすることや魔除けになると信じられていました。日吉神社の七夕神事はやはりこの水を使います。閉門後から開門前に行われる粛々とした神事ですので御参列にはなれませんが、天の川がある銀河宇宙や私たちが生活する地球のことをお祈りしています。

では皆様日々お健やかにどうぞお過ごし下さいませ。



### Cinema

詳しくは5P  
「プレゼントコーナー」をご覧ください

PRESENTS

『リボルバー・リリー』

8月11日(金)全国公開

大正末期、時は1924年。関東大震災後の東京は、鉄筋コンクリートのモダンな建物が増え、最大規模となった花街など、活気あふれる賑わいを見せていた。16歳からスパイ任務に従事し、東アジアを中心に3年間で57人の殺害に関与した経歴を持つ元敏腕スパイ・百合。一方、家族を殺害され、父親から託された陸軍資金の鍵を握る少年・慎太。慎太から助けを求められたことで、陸軍から追われる身となった2人…。関東大震災後の東京を生き抜く先に、終息の地は訪れるのか?!



【問】T・ジョイ久留米 [https://tjoy.jp/t-joy\\_kurume](https://tjoy.jp/t-joy_kurume)